

# 第1回子ども・子育て会議 議事録（要約版）

会議名	平成26年度 第1回南島原市子ども・子育て会議
日時	平成26年7月11日（金） 19:30～21:40
場所	南島原市役所家庁舎2階会議室
出席委員	11名

議題説明内容	意見・質問等	事務局回答
<p>I. 南島原市の人口動態及び支援事業計画の量の見込みについて</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>●南島原市の人口動態</li> <li>●量の見込み               <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 量の見込みを算出する項目</li> <li>2. 量の見込みを算出する方法</li> <li>3. 量の見込みの算出結果と現状</li> </ol> </li> </ul>	<p>◎病児・病後児保育の推計がこれだけ多く上がっているということは切実な問題と思う。雲仙市では、病後児の訪問事業が始まっているが、少しずつ利用が増えている。南島原市でもそういうのを実施していただきたい。</p>	<p>病児・病後児保育については、本年度から3つの保育園で事業を実施しています。他にもこれから実施したいという保育園があれば事業として実施していただくことにしています。</p>
<p>II. 計画策定スケジュールについて</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>●子ども・子育て支援事業計画は、国が定めた基本指針に基づき全ての市町村で策定。</li> <li>●事業計画は、子ども・子育て家庭の状況からそれぞれの需要の調査をし、現在の利用状況及び利用希望を把握して策定。</li> <li>●計画の期間は5年間。</li> <li>●計画策定スケジュール</li> </ul>	<p>◎パブリックコメントは具体的にはどのように実施するのか。</p>	<p>具体的には、市のホームページや広報誌で市民の皆さんへお知らせをして実施していくことになります。期間を定めて皆さんの意見を聴くという形になります。</p> <p>計画書（案）を各支所にも設置する予定です。</p>

<p>4～6月：ニーズ調査による量の見込みを集計し、県へ報告</p> <p>～9月：確保の方策を検討、調整</p> <p>11月：パブリックコメント</p> <p>3月：計画策定</p>	<p>◎産後ケアハウスのことについては、全く上がってこなかったのか。産後ケアについて全国の会議に参加したが、産後のケアを十分することによって、児童虐待もなくなるということも言われていた。南島原市でもこの問題に取り組んで欲しい。</p>	<p>次世代計画の中で、母子保健関係がありますが、次世代計画を今度の計画に盛り込むかどうかは今後の検討事項であり、再度この会議でも確認していただきます。</p>
	<p>◎次世代計画はいつまでか。</p>	<p>本年度、26年度までです。</p>
	<p>◎病児・病後児については、たくさん希望があるけども自治体では実施されていないということか。</p>	<p>本年度から事業として実施していきます。</p>
<p>Ⅲ. 各種基準等の検討について</p> <hr/> <p>●家庭的保育事業等の認可と給付による財政支援の対象とする施設、事業の確認、放課後児童健全育成事業の質の確保について、国が定める基準を踏まえて市が条例で定めることとされている。</p> <p>●国が定める基準：国が定めた基準以下にすることはできない。</p> <p>●参酌すべき基準：自治体が十分参酌した結果、地域の実情に合わせて制定してよい。</p> <p>●南島原市では、全ての基準において国の定め</p>	<p>(発言・意見)</p> <p>◎加津佐のほうでは4園ありますが、どんどんこどもの数が減っている。</p> <p>◎雲仙市では柔軟性があるって、保育している。やはり職場でも、柔軟性をもって子育てのために上司の理解とかが必要ではないか。</p> <p>◎どうしたら豊かな環境になるのかを自分の家庭でも、また社会全体でも考えていく必要がある。南島原市全体が、仕事がしやすい環境になってほしい。</p> <p>◎雲仙市の職員さんで男性が産休をとってベビーマッサージにきていたが、やはり産休をと</p>	<p>参考意見としてお伺いします。</p>

<p>る基準に従って条例を定めたい。</p> <p>●条例（案）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 南島原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準</li> <li>2. 南島原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準</li> <li>3. 南島原市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準</li> </ol>	<p>るときには勇気がいったと言っていた。</p> <p>◎南島原市では、実際に結婚している方は、3人とか4人とか生んでいらっしゃる方が多いように思う。私の知り合いで、都会に住むよりは、南島原市が子育てしやすいと言っている人もいる。仕事さえあれば、そういう人が移り住んでいくのではないかな。</p> <p>◎家庭がしっかりしている地域では、何とかなる。</p> <p>◎今日は加津佐中学校の「命の教室」に行ってきましたが、みんな本当に目力があってよかった。生まれてきたからには、数が多かろうが少なかろうが大事にして命をつないでいて欲しい。</p>	
--	---	--